



ぽっかぽか ぞう組

保護者会では多くの方にご参加いただきありがとうございました！この一年、保護者の皆様にご協力いただき、子どもたちひとりひとりの成長に関わらせていただいたこと、感謝しかありません！本当にありがとうございました！進級までは旧担任と新担任が入り、子どもたちが一日も早く安心して過ごせる環境を整えたいと思います。ご心配なこと、気になることがありましたら些細なことでも担任までお知らせください。

「ごめんね」と「思いやる気持ち」



年度最後のテーマに相応しくないかもしれませんが、でも今の子どもたちにとっても大切な事柄だと思いましたので保護者の皆さんと共有させていただきますね。

Aくん『ごめんね』って言って！ Bくん「…ごめんね」 Aくん「いやだ！」これは実際ぞう組であった場面です。成長に伴い、いざこざで叩いたり蹴ったりがなくなった分、言葉での言い合いが増えてくるのは自然なことです。でもこの時私が思ったことは、「どうやったら子どもたちに心が伴った『ごめんね』を伝えてあげられるだろう」という疑問でした。皆さんはどう思われますか？

私自身が子どもの何気ない言葉で気持ちを害した時はきちんと伝えるようにしています。大人も言われて嫌な気持ちになることがある、と伝えたいからです。先日もある子の乱暴なもの言いに「それを言われて嫌な気持ちだよ。「ごめんね」して欲しい」と穏やかな口調で伝えました。その子は「ごめんね」と言ってくれたので私は『ごめんね』って言ってくれてありがとう。ちほさんの気持ちを分かってくれてありがとう」と伝えました。その子は自分の「ごめんね」に対して「ありがとう」と言われたのが意外だったのかきょとんとしていましたが、何事もなかったかのように私と会話を続けました。

答えは一つではないと思います。状況によっては上記のように強要されたり、とりあえず場を収めるためだったり、わからないままに「ごめんね」を言うことがあるかもしれません。でもその時に「言ってくれてありがとう」とその行動に対して感謝することで、相手を思いやる気持ちが成長するのではないのでしょうか。

「わたしも大事 あなたも大事」大人である私たち自身が対等な存在として、子どもひとりひとりを大切に思う気持ちを丁寧に伝えていきたいと思います。



～ お願い と お知らせ ～

3月7日（土）に新年度準備を行ないます。そのため**3月6日（金）の帰りまでにすべての荷物のお持ち帰り**にご協力お願いいたします。

4月11日（土）に新年度最初の保護者会を予定しております。お忙しいところ恐縮ですが、ご参加よろしくお願いたします。